

巻頭言

新たな事業展開に向けて

審 議 役

中 原 繁 雄

新しい世紀が始まり、社会が今後どのように変化・発展していくのか大いに期待と関心が寄せられるところであります。短期的に、或いは超長期的に様々な分野で技術革新が進行し、それが我々の取り組む都市高速道路の建設・管理にどう影響し、どのように変貌するのか、関心を寄せずにはられません。

ところで公団事業の周辺環境は、行政改革等に関連して、経営問題、コスト管理等々、従来の処方箋の延長では対処できない新たな課題がここ数年続出しており、この流れのなか建設・管理の進め方は大きく変化してきております。

建設面においては、新たな事業着手ひとつを取り上げてみても、微に入り細にわたる事前措置が必要となっていており、着手後の不確定要因を出来る限り事前に予知すべく種々の検討が行われています。その結果として工事実施状況は一昔前にほど遠い状況であることも事実であります。

また管理面においても、費用の節減と安全性確保という一見相反する課題解決のため、ライフサイクルコストを考慮した予防的な保全等についてより検討を進めるなど保全分野の質的变化が求められています。

新たな課題に対処しつつ着実に事業展開をはかるためには、我々が既成概念のみにとらわれることなく、広い視野・異なった視点からものごとに取り組むことも必要と考えます。厳しい環境下ではありますが、皆様の努力により今までに培った公団の技術力がさらにバージョンアップし、事業が着実に展開・進行することを期待する次第です。